



# 看護問題対策委員会ニュース

全日本赤十字労働組合連合会 NO.11-03 11.9.12

書籍紹介

佐々木司（慢性疲労研究センター所長）著



## ルールがわかれば変わる 看護師の交代勤務

全日赤の定期全国大会でも予告していましたが、ついに佐々木司氏の本が完成しました。佐々木氏は、全日赤でも夜勤問題の学習会で講師に来ていただいたこともあり、交代制勤務、とくに夜勤問題では、日本の研究者ではピカイチです。

佐々木氏は、今年の6月に開催された国際夜勤交代勤務シンポジウムで世界で初めて「16時間夜勤の研究」を発表をしました。この発表に対して全世界の研究者が関心を示し、どの研究者も「信じられない!」「長すぎる!」と目を丸くし、ILO（国際労働機関）の研究者などは「連合はどうして反対しないのだ!」とまでいう始末だったようです。

また、今年の第15回看護管理学会でも、佐々木司氏が交代制勤務問題で講演し、会場が溢れるほどの盛況だったそうです。日本看護協会のホームページにアップ（夜勤・交替制勤務の健康リスク、安全リスク、生活リスク～夜勤・交替制勤務の実態と最新の労働科学の知見）されています。

本の内容は、PART 1では、「3交代に潜む落とし穴」や「夜勤を強化する3つの社会的価値」「後

悔先に立たず!長時間夜勤の健康リスク」「無策は問題!長時間夜勤の安全性リスク」「これからを見据えて長時間夜勤の生活のリスク」。PART 2では「夜勤勤務編成のスタンダード」「システム対策に頼らない看護師の労働負担改善」です。ささっと読めて、しっかり学習できます。また、巻末には、理解度チェックの問題付きです。正しいルールで安全・健康・生活を守りましょう。



医労連の2011年秋看護要求実現交流集会の参加者には資料として配付されました。さて、価格ですが、定価900円+税のところ、日本医労連価格で800円（税込み・送料別）です。この機会に読んでみてはいかがでしょうか。